

●第 52 回数理社会学会大会の申し込みについて (Call for Papers)

第 52 回数理社会学会大会が、2011 年 9 月 6 日 (火)、7 日 (水) の 2 日間にわたり信州大学松本キャンパスで開催されます。研究報告をご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。この大会は日本ソフトウェア科学会「ネットワークが創発する知能研究会」と合同開催となります。

“自由報告”は、数理・計量社会学あるいはそれと関連する研究領域のなかで、報告者が自由にテーマを選んで報告するものです。原則として口頭発表で行います。「自由報告申込書」と「報告要旨」を同時に提出することで正式の申し込みとします。なお、プログラム作成上の都合から、萌芽的セッション報告となることがあります。

“萌芽的セッション報告”は、萌芽的なアイデアや着想、厳密な定式化には至っていない発展途上の研究などをポスター形式で報告し、オーディエンスとのやりとりを通して、それを発展させることをねらいとします。「萌芽的セッション報告申込書」を提出することで正式の申し込みとします(報告要旨は提出不要)。題目のみプログラムに記載され、報告要旨は報告要旨集に収録されません。

“会員発案の特別企画”は、課題を設定した部会の編成など、自由報告とは異なる研究報告の企画案を募集するものです。「企画書」を提出することで正式の申し込みとします(書式自由、詳しくは下記をお読みください)。

発表の日時に関する要望や、申し込み後の連名報告者の追加・変更、題目の変更に関する要望には応じられませんので、ご注意ください。1 人の方が登壇できるのは、「学会賞受賞講演」「シンポジウム」など特別な企画を除き、原則 1 回とします(ただし、萌芽的セッションでの登壇はこれに含まれません)。報告の申し込みをされた方に、研究事務局から電子メールで受領通知を返信します(申し込み後数日たっても届かない場合は研究事務局にご連絡ください)。

(1) “自由報告”の申し込み期限は **2011 年 7 月 20 日 (水) (必着)** です。

- 1)学会ウェブページから「自由報告申込書」と「報告要旨見本」をダウンロードしてください。
- 2)「自由報告申込書 (doc ファイル)」「報告要旨 (doc ファイル等)」「報告要旨印刷用版下 (pdf ファイル)」の三つを研究事務局と大会事務局の 2 か所に電子メールの添付ファイルでお送りください。
- 3)英語で報告することができます。
- 4)報告要旨集は大会直前に印刷されますので、著者校正はありません。

(2) “萌芽的セッション報告”の申し込み期限は **2011 年 7 月 20 日 (水) (必着)** です。

- 1)学会ウェブページから「萌芽的セッション報告申込書」をダウンロードしてください。
- 2)「萌芽的セッション報告申込書」を研究事務局と大会事務局の 2 か所に電子メールの添付ファイルでお送りください。
- 3)萌芽的セッションでは、報告形態はポスターのみです。ポスターは最大で A0 判 (W841mm×H1189mm) のスペースが利用可能です(ただし最大の大きさである必要はありません)。
- 4)英語で報告することができます。

(3) “会員発案の特別企画”の募集は、第 52 回大会では行われません。

研究事務局

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1
成蹊大学文学部 小林盾
E-mail : jams.research@gmail.com

大会事務局

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1
信州大学人文学部 辻竜平
E-mail : rtsuji@shinshu-u.ac.jp

以上